



2021年11月8日

株式会社 山梨中央銀行

「山梨中銀ふれあいの里山」で収穫した野菜を
「特定非営利活動法人 にじいろのわ」へ寄付

株式会社 山梨中央銀行（頭取 関 光良）は、人と自然が調和した里地里山の保全を推進し、後世に引き継ぐ活動として、2011年8月から、中央市の耕作放棄地を「山梨中銀ふれあいの里山」と命名し、地域の農家や森林組合の皆さまのご指導のもと再生させ、さまざまな野菜の栽培などを行っております。

今般当行グループは、行員が種をまき当行の女子バレーボール部員が収穫した野菜（サツマイモ 116 kg、ジャガイモ 39 kg、白菜 16 kg、長ネギ 52 kg）を役立てていただこうと、11月5日（金）、「やまなし地域こども食堂」等を運営する「特定非営利活動法人 にじいろのわ」（理事長 土屋 茂）へ寄付させていただきました。

今後も、当行グループ役職員は、国連が提唱する「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成に貢献するため、「山梨中央銀行グループ SDGs 宣言」のもと、地域が直面する課題に対し、一人ひとりが主体的に取り組み、地域に暮らす皆さまの豊かな生活づくりを支援することで持続可能な社会の実現に努めてまいります。



左から内藤理事 土屋理事長 関頭取 姫野女子バレーボール部主将

以上